

消防費 2億4千万円



新築した新井消防機庫・詰所

▼消防車両整備事業（432万円）：第1分団第3部（篠本三区）で小型動力ポンプ付積載車を、第7分団第2部（木戸）で小型動力ポンプを更新しました。

▼消防施設整備事業（468万円）：消防機庫・詰所の新築工事（新井）、消防機庫の補修工事（橋場、篠原、五ノ神、西高野、原方）、ホース乾燥搭設工事（作間内、芝崎、新井）を実施しました。

▼災害用備品整備事業（91万円）：災害時に備え、災害用備蓄毛布200枚、ブルーシート180枚、非常用飲料水袋800枚を購入しました。

教育費 22億9千万円

▼姉妹校交流事業（100万円）：国際感覚豊かな人材育成のため、姉妹校のメイビル中学校を生徒4名と教師1名が訪問しました。

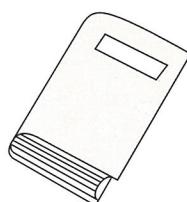
▼情報教育推進事業（403万円）：情報教育の充実・推進を図る新たに中学校にコンピュータ19台を購入しました。

▼小学校施設整備事業（1,055万円）：教育環境の整備として、南条小受水槽交換工事、東陽小倉庫新築工事、白浜小滅菌機取替工事等を行いました。

▼中学校建設事業（16億3,143万円）：中学校新校舎・講堂棟の建設工事が完了しました。

▼生涯学習推進事業（186万円）：生涯学習の意義と学習意欲の向上を目的としてフェスティバルを開催したほか、各種学級講座13講座の充実を図りました。

▼青少年海外研修事業（155万円）：豊かな国際性を身に付けるため青少年海外視察研修（シンガポール・マレーシア）を行い、13名が参加しました。



特別会計

国民健康保険特別会計

歳入は、国保税、国県支出金、一般会計からの繰入金などで、総額は、13億555万円でした。歳出は、医療給付費が9億9、247万円、各種検診などの保健事業費が1,049万円などです、歳出総額は11億3,776万円でした。14年度の医療給付額は、1人当たりでは14万9千円、1世帯当たりでは37万4千円と13年度とほぼ同額でした。また、出産育児一時金は36人に、葬祭費は101人に給付し、短期人間ドック助成利用者は30人でした。※平成14年度は会計期間の改正があつたため、現物給付は11ヶ月分で算出

▼図書資料整備事業（2,000万円）：利用者の皆さんによります。

▼スポーツ健康都市宣言事業（38万円）：スポーツ活動推進員の協力により、町民体育祭、町内駅伝大会等各種事業を実施しました。

▼図書資料整備事業（2,000万円）：利用者の皆さんによります。

資料等1万1千冊を購入しました。また、情報通信技術の基礎技術習得のためのIT講習会を開催しました。

老人保健特別会計

歳入は、支払基金交付金、国

県支出金、一般会計からの繰入金等で、総額は10億5,796万円でした。歳出は、医療給付費10億406万円が主で歳出総額は10億5,483万円でした。14年度の1人当りの医療給付額は、46万5千円で、前年度と比較して3万1千円増えました。

介護保険特別会計

歳入は、保険料・国県負担金・支払基金交付金・一般会計からの繰入金等で5億185万円で、支出は、保険給付費や認定審査会費などで4億8,709万円でした。また、介護給付費の伸びは前年度と比較して5・2%の伸びとなりました。

食肉センター特別会計

収入の太宗をなす事業収入は、大動物がBSEの発見以来、高齢牛のと畜を一部制限していることから、前年度より約300頭減少しましたが、小動物が約1万1千頭増加したことから予算額に対し14・6%増の1億7、943万円が確保できました。なお、経費の節減と経営の合理化に努めたことにより、4千万円の積立をすることができ、実質収支は6,028万円の黒字決算となりました。

平成14年度光町一般会計及び各特別会計へ歳出決算について、各会計の決算書並びに添付された関係書類に基づき、各会計歳入歳出帳簿及び証拠書類を照合審査した結果、各会計とも決算数は正確であることを確認しました。また、事務事業の執行状況は、各会計とも目的に沿って適正に執行され、その処理方法も適正であり、財産管理も適正に行われ、基金の運用についても適正かつ効果的に行われていることを確認しました。